

花の歳時記2

一月



①万両 (13-1/2)
「万両の 万の腫の
息づきて」永方裕子

二月



②蔦の蔓 (13-2-17)
「みつけたる 夕日の端の
蔦の蔓」柴田白葉女

三月



③水仙 (13-3/15)
「其のほひ 桃より白し
水仙花」芭蕉

四月



④牡丹 (13-4/29)
「はなやかに しずかなるものは
牡丹かな」眺台

五月



⑤芍薬 (13-5/17)
「左右より 芍薬伏しぬ
雨の径」松本たかし

六月



⑥笹百合 (13-6/15)
「谷風や 花百合そ向き
ま向きして」阿波野青畝

七月



⑦蜻蛉 (13-7/2)
「蜻蛉の 通り抜けたる
大広間」岡安仁義

八月



⑧百日草にアゲハが (13-8/13)
「乱心のごとき
真夏の蝶を見よ」阿波野青畝

九月



⑨芙蓉 (13-9/21)
「男くさき 現場事務所の
花芙蓉」長沢常良

十月



⑩あさぎまだら (13-10/28)
「ますぐには 飛び行きがたし
秋の蝶」阿波野青畝

十一月



⑪皇帝ダリヤ (13-11/20)
「ダリヤ大輪 ルキ王朝に
美女ありき」福田蓼汀

十二月



⑫洋ラン (13-12/24)
「この出逢ひこそ クリスマス
プレゼント」稲畑汀子